

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 6 年 11 月 30 日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・ <u>地域連携DMO</u> ・地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 八重山ビジターズビューロー	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	沖縄県石垣市、竹富町、与那国町	
所在地	沖縄県石垣市大川 547 番地 興ビル 206 号室	
設立時期	平成 27 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	5 人【常勤 5 人（正職員 3 人・出向等 2 人）、非常勤 0 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	中山 義隆 (石垣市) (兼任)	石垣市の市長を務めており、竹富等、与那国町を含む 3 市町の連携エリア「八重山地区」を代表し取りまとめている。国内外への観光誘致等においてもトップセールスを積極的に実施する等行動している。本ビューロー設立時より代表理事を務めている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	我那覇 宗広（専従） 出身組織名：日本トランスオーシャン航空株式会社	航空会社で監査部長、販売部長、経営企画副部長を務めた経験を活かし、観光情報の収集分析や観光客の誘致及び受け入れに関する戦略等をまとめていく。
インバウンド・旅行商品の造成・販売の責任者		
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	綿貫 周平（専従） 出身組織名：株式会社日本旅行沖縄	株式会社日本旅行沖縄の前職である官公庁での事業立案、予算管理、補助金業務の経験を活かし、持続可能な運営のための運営収支や財源確保、事業継続に従事する。

連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	石垣市 企画部（地域社会総合企画推進） 企画部観光文化課（マーケティング・観光推進） 竹富町 自然観光課（観光振興・自然環境） 与那国町 企画財政課（社会資本整備・観光推進・公共交通） 八重山広域市町村圏事務組合（地域連携） 沖縄県 文化観光スポーツ部（観光政策、受入整備等） 沖縄県 八重山事務所総務課（地域観光誘致推進） 沖縄総合事務局 運輸部（観光政策、受入整備等）
連携する事業者名及び役割	【八重山圏域内観光振興対策の推進】 ・石垣市商工会、竹富町商工会、与那国町商工会、八重山経済人会議、JA おきなわ-やえやま、八重山漁業協同組合、石垣島特産品詰め隊（物産・施設） ・八重山タクシー事業協同組合、東バス、カリー観光、西表島交通、八重山観光フェリー、安栄観光、船浮海運（二次交通） ・沖縄県建設業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業協会（宿泊施設） ・海上保安庁第 11 管区（平成 30 年 6 月、八重山諸島における教育旅行関係者の誘客、受け入れ、学びにおける観光地域づくり推進に関する協定書を第 11 管区海上保安部石垣海上保安部、第 11 管区海上保安本部石垣航空基地、八重山ビクターズビューロー及び八重山教育旅行誘致委員会間で締結） 【八重山圏域観光資源の開発及び受入態勢の整備】 ・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】 ①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画 ⇒石垣市長、竹富町長、与那国町長、沖縄県八重山事務所所長、石垣市観光交流協会副会長、竹富等観光協会会長、与那国町観光協会会長、石垣市商工会会長、竹富町商工会会長、与那国町商工会会長、八重山経済人会議代表が理事として参画。CMO である YVB 常任の専務理事が中核となり理事会を定期的に実施している。 ②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置 ⇒圏域内の多様な関係者で構成される各種委員会の中核的立場として「八重山広域ビジョン推進戦略室」を設置。 ・圏域における問題や課題、要望、提案等を集約し協議を行うべく、八重山圏域ビジョン会議のワーキンググループを開催。 ・YVB の事業計画、予算等について行政と話し合う「3 市町 YVB ミーティング」を実施。 ・八重山圏域の交通事業者（船会社、バス会社）を中心とし、地域の二次交通の課題に取り組む「八重山観光・交通コンソーシアム」を運営。 ・観光客が求める安全安心な情報を一元化し発信するための「観光情報基盤構築事業（観光情報のオープンデータ化）」会議に参画。 ・その他地域の課題に応じたワーキンググループも随時検討。
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	・地域住民を含めた観光地域づくり法人の理解と啓発を目的としたシンポジウムを開催。（2018 年 8 月・12 月、2019 年 3 月） ・ユニバーサルツーリズムの理解と啓発を目的としたセミナー。（沖縄県と県警。2018 年 8 月） ・竹富町の観光従事者を対象にインバウンド観光客の受入意識調査。座談会も合わせて実施。（2018 年度）

	・多種多様な業種から参画のビジョン会議メンバーを中心に、専門家によるSDGs 勉強会を実施。(2018 年度) ・現在の課題抽出を目的として、石垣市長 (YVB 会長) と八重山圏域ビジョン会議メンバーに観光協会、青年会議所のメンバーを交えた意見交換会を実施。(2018 年度) ・八重山諸島への来訪者に対して八重山諸島の魅力・見どころをわかりやすく伝えるキャッチフレーズ「島色、無限大∞」およびロゴの採用、周知を図る。マスコミ (新聞、ケーブルテレビ)、SNS を通しての発信・航空会社及び旅行会社へトップセールス実施・旅行商品パンフレット、WEB への掲載依頼。 ・地域住民の観光業についての意識調査に関して、アンケートの実施。(2019 年 2 月、2022 年 2 月) ・竹富町におけるインバウンド観光客を意識した観光人材育成セミナーの実施 (第 1 回 : 2019 年 11 月、第 2 回 : 2019 年 12 月、第 3 回 : 2020 年 1 月) ・石垣市主催の石垣市観光プラットフォーム会議を開催し、住民向けアンケート及び来訪者向けアンケート結果内容について多種多様な業種の市民が参加し情報共有および課題に対する対応について意見交換を実施。パネリストとして YVB 専務理事が参加。(2019 年度) ・西表島の世界自然遺産登録に伴い、登録後の観光管理等につて環境省及び竹富町の協力のもと講演会を実施。(2021 年度) ・SDGs と持続可能な観光について、圏域内の観光従事者の事例を紹介しながらセミナーを実施。(2021 年度) ・宿泊税の必要性や使い道についての考えを深め、コロナ禍を越えて「観光の力」や「観光の新たな概念」を発揮して、観光事業者・来訪者 (旅行者)・地域が観光による恩恵と幸福度を持続的に高めていく観光地経営について考える「観光の未来を考える日」を石垣市と共催で実施。(2023 年度) ・県内の若手議員に向け、DMO の概要について説明を行い、DMO 法人に対する理解促進を実施。また、YVB の取り組み及び八重山観光の現状も紹介した。(2023 年度) ・石垣市観光施設整備運用に関する有識者委員会に専務理事が委員として就任。石垣市初の PFI 事業者の選定および地域住民と連携した観光施設事業運営を推進。				
法人のこれまでの活動実績	【活動の概要】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> (1) 離島観光活性化促進事業 (平成 24 年度～現在) 滞在日数や消費単価拡大を目指した離島周遊促進のため、八重山ならではの魅力 (伝統芸能文化、自然、食文化など) の発信、PR を実施。 【令和 5 年度実施内容】 ■SNS プロモーション 八重山島ぐらしカレッジの SNS サイト運営および冊子制作 ■食文化観光プロモーション 『八重山島ぐらしカレッジ』のリアル講座を横浜で開催。 トークセッションや試食を通じた八重山ファンの構築。 ■国外誘客事業 台湾での八重山PR (台琉友好ヨットレース・台北国際旅行博・廣三SOGO冬の日本商品展) ■国内誘客事業 イベント等出展によるPR (ツーリズム EXPO ジャパン 2023、MRO 旅フェスタ) ■パンフレットツール類制作 </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	(1) 離島観光活性化促進事業 (平成 24 年度～現在) 滞在日数や消費単価拡大を目指した離島周遊促進のため、八重山ならではの魅力 (伝統芸能文化、自然、食文化など) の発信、PR を実施。 【令和 5 年度実施内容】 ■SNS プロモーション 八重山島ぐらしカレッジの SNS サイト運営および冊子制作 ■食文化観光プロモーション 『八重山島ぐらしカレッジ』のリアル講座を横浜で開催。 トークセッションや試食を通じた八重山ファンの構築。 ■国外誘客事業 台湾での八重山PR (台琉友好ヨットレース・台北国際旅行博・廣三SOGO冬の日本商品展) ■国内誘客事業 イベント等出展によるPR (ツーリズム EXPO ジャパン 2023、MRO 旅フェスタ) ■パンフレットツール類制作
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	(1) 離島観光活性化促進事業 (平成 24 年度～現在) 滞在日数や消費単価拡大を目指した離島周遊促進のため、八重山ならではの魅力 (伝統芸能文化、自然、食文化など) の発信、PR を実施。 【令和 5 年度実施内容】 ■SNS プロモーション 八重山島ぐらしカレッジの SNS サイト運営および冊子制作 ■食文化観光プロモーション 『八重山島ぐらしカレッジ』のリアル講座を横浜で開催。 トークセッションや試食を通じた八重山ファンの構築。 ■国外誘客事業 台湾での八重山PR (台琉友好ヨットレース・台北国際旅行博・廣三SOGO冬の日本商品展) ■国内誘客事業 イベント等出展によるPR (ツーリズム EXPO ジャパン 2023、MRO 旅フェスタ) ■パンフレットツール類制作				

		<u>(2) 与那国町誘客促進活性化事業（平成 30 年度～現在）</u> 与那国町の安定的な発展のため、国内での効果的なプロモーション事業を推進し、マーケットニーズに即した誘客活動の展開や、与那国ブランドの確立に取り組む。産業や地域を超えた連携体制を構築しながら、国内主要マーケットに対するマーケティング情報を踏まえた誘客イベント等を展開し、年間を通して楽しめる与那国島の魅力を効果的に発信。 【令和 5 年度実施内容】 ■情報発信ツール制作 与那国島観光のパンフレットや体験 MAP（日本語＋外語語版）、及びオリジナルノベルティの作成 ■誘客プロモーション 中部国際空港・羽田空港・那覇商業施設での観光物産フェア、台湾花蓮市マラソン大会観光PR、与那国島島内カジキ釣り大会、マラソン大会 <u>(3) 八重山観光親善大使事業（平成 24 年度～現在）</u> ミス八重山の運営管理。国内外における八重山観光関連公式行事やイベントにおいて、八重山観光のPRと親善交流を実施。また個人ダイレクトマーケティングの一環としてのSNS 情報発信も実施。 【令和 5 年度実施内容】 派遣延べ日数：82 日（2 人合計） Facebook：フォロワー数 6,174 人 投稿回数 193 回 （令和 6 年 3 月時点） Instagram：フォロワー数 7,081 人 投稿回数 192 回 （令和 6 年 3 月時点） <u>(4) 八重山観光感謝のつどい（平成 24 年度～現在）</u> これまでの八重山観光振興に尽くされた関係者への感謝の意を伝えるとともに、八重山観光の方針や取り組みを発信し共有する機会として実施。 【令和 5 年度実施内容】 現地八重山での島外旅行会社を対象とした八重山観光セミナーおよび観光事業者との大商談会を実施。 参加者：旅行会社 26 社 78 名 地元事業者 33 社
--	--	---

	<u>(5) 八重山の花びらき（平成 24 年度～現在）</u> 「日本最南端の花びらき」の会場を、毎年開催地を 3 市町で変更しながら実施。ミス八重山の発表を同時に実施することにより、それぞれの地域の PR 効果を高める。 【令和 5 年度実施内容】 令和 5 年 3 月 16 日 石垣島開催 約 1,200 名参加 <u>(6) 八重山教育旅行誘致委員会</u> 民間企業を会員とする「八重山教育旅行誘致委員会」事務局を運営。 <u>(7) DMO 強化対策事業（平成 30 年度～現在）</u> ■CRM アプリ「島色、無限大∞」の情報サイト https://infinity-yaeyama.okinawa/の管理、運営。加盟店情報や観光地情報、イベント情報を発信。また、アプリ会員へのメールマガジン配信や、アプリ上での情報発信も実施。 ■クルーズ船内での八重山プロモーション MSC ベリッシマの石垣島寄港に合わせて、船内で八重山観光に関するプロモーションを実施。クルーズ船の滞在時間を意識した観光ルートの提案、離島の紹介、八重山の文化の紹介を実施
受入環境の整備	<u>(1) DMO 強化対策事業（平成 30 年度～現在）</u> 【令和 5 年度】 ■より良い受入環境整備のための各種会議への参画 ・石垣市商工会観光部会勉強会 ・三圏域・OCVB 連絡会議～観光協会・行政・DMO を含めた拡大会議 ・西表島の持続可能な観光のための認証制度検討会 ・観光施設整備運用等に係る民間資金活用導入検討業務委託有識者会議 ・宿泊税導入意見交換会 ・石垣市観光審議会 ■地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業 観光庁の公募事業に YVB が申請主体となり、参画事業者の取りまとめ及び全体計画の作成を行った、令和 5 年度は圏域内の 18 事業者が参画し、地域の宿泊施設、観光施設が地域計画に沿った高付加価値回収を計画していたものの、全国的

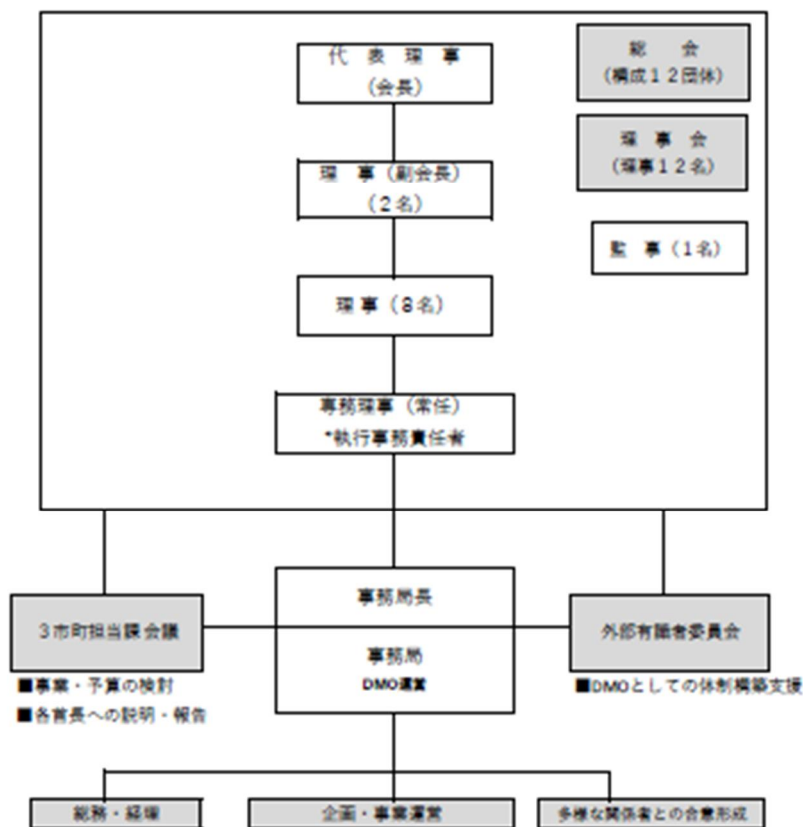
	に申請件数が大幅増加したこともあり、第1回、第2回ともに採択見送りとなった ■沖縄地域 MaaS 導入推進調査事業 令和4年度からの継続事業。八重山圏域の交通事業者6社から成る八重山観光・交通コンソーシアムを発足し、その事務局を担った。八重山圏域における二次交通の利便性向上、慢性的な交通渋滞、コロナ禍により減少したレンタカー不足等の問題を解決および公共交通分担率向上のため、公共交通におけるサブスクリプションを導入。令和5年度は交通事業者の他、観光アクティビティとも連携を実施。また誘客促進エリアを設け、滞在人口の平準化を図った。 ■観光情報基盤構築事業（観光情報のオープンデータ化） 景勝地等、観光客が求める必要な情報を適切に流通させるという観点等から、データ整備並びにオープン化、継続的に利用できる体制構築に向けた意見交換を実施 ■デジタルマーケティングによる地域データベースの構築 CRM アプリ「島色、無限大∞」を使った地域データベースを構築 ■地域に対する観光地域づくりに関する意識啓発 ・県内若手議員に向けた勉強会 ・観光の未来を考える日 ■交通・観光連携型事業 石垣島内のタクシー会社や宿泊施設10社が参画。インバウンド、高付加価値観光客向けの石垣島周遊コースを開発するための実証運行および調査を実施 （観光庁 交通・観光連携型事業 申請主体：三ツ星タクシー合名会社 連携：YVB） <u>（2）与那国町誘客促進活性化事業（平成30年度～現在）</u> 【令和5年度】 ■誘致受入体制強化事業 ・新たな船舶航路構築に向けた調査事業。チャーター便運航への継続的実証調査 ・アンケートに基づいた観光統計の分析、有識者と連携した分析結果の島内セミナー開催。
観光資源の磨き上げ	■地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（令和4年度） 酒蔵を巡って楽しめる酒造見学、有料体験コンテンツの創出や泡盛ガイドの育成と酒造見学を含めた地域周遊型プログラムを合わせた「琉球泡盛と地域観光資源を組み合わせた高付加価値ツーリズム創出事業」を実施。 ■新たな沖縄観光サービス創出支援事業（令和3年度） 八重山でプロのミュージシャンから三線を習得する、長期滞在で高付加価値の「八重山民謡を習得して八重山とつなが

	ろう」モニターツアーを実施。 ■日本初星空保護区八重山における星空ツーリズムコンテンツ造成事業（令和２年度） 地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、地域でのさらなる滞在を促すことを目的としたツアー造成を実施。日本初星空保護区に認定された八重山諸島で、星空ツアーを中心としたナイトタイムコンテンツの磨き上げにより訪日外国人の誘客及び消費拡大を図った。 【定量的な評価】 ・八重山入域観光客数（４月～翌年３月） <table border="1"> <tr><td>平成 28 年度</td><td>1,266,778 人（対前年比 107.3%）</td></tr> <tr><td>平成 29 年度</td><td>1,363,465 人（対前年比 107.6%）</td></tr> <tr><td>平成 30 年度</td><td>1,420,142 人（対前年比 104.2%）</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>1,416,383 人（対前年比 99.7%）</td></tr> <tr><td>令和 2 年度</td><td>493,701 人（対前年比 34.9%）</td></tr> <tr><td>令和 3 年度</td><td>601,435 人（対前年比 121.8%）</td></tr> <tr><td>令和 4 年度</td><td>1,041,530 人（対前年比 173.2%）</td></tr> <tr><td>令和 5 年度</td><td>1,260,684 人（対前年比 121.0%）</td></tr> </table> 平成 16 年度～平成 22 年度の間、八重山の年間入域観光客数は 70 万人台の記録が続いていたが、平成 25 年の南ぬ島石垣空港開港後、観光客数は大幅に伸び、平成 25 年度は 98 万人台を記録。平成 26 年度は初の 100 万人台を記録し、令和元年度は過去最高の 141 万人を突破した。令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により入域客数は大きく落ち込んだが、令和 5 年度は 126 万人を超え、令和元年度の約 9 割にまで回復している。	平成 28 年度	1,266,778 人（対前年比 107.3%）	平成 29 年度	1,363,465 人（対前年比 107.6%）	平成 30 年度	1,420,142 人（対前年比 104.2%）	令和元年度	1,416,383 人（対前年比 99.7%）	令和 2 年度	493,701 人（対前年比 34.9%）	令和 3 年度	601,435 人（対前年比 121.8%）	令和 4 年度	1,041,530 人（対前年比 173.2%）	令和 5 年度	1,260,684 人（対前年比 121.0%）
平成 28 年度	1,266,778 人（対前年比 107.3%）																
平成 29 年度	1,363,465 人（対前年比 107.6%）																
平成 30 年度	1,420,142 人（対前年比 104.2%）																
令和元年度	1,416,383 人（対前年比 99.7%）																
令和 2 年度	493,701 人（対前年比 34.9%）																
令和 3 年度	601,435 人（対前年比 121.8%）																
令和 4 年度	1,041,530 人（対前年比 173.2%）																
令和 5 年度	1,260,684 人（対前年比 121.0%）																
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	【実施体制の概要】 石垣市・竹富町・与那国町の行政、沖縄県八重山事務所・八重山広域市町村圏事務組合・八重山経済人会議・石垣市商工会・竹富町商工会・与那国町商工会・石垣市観光交流協会・竹富町観光協会・与那国町観光協会の計 12 団体で組織されている。沖縄県より地域観光政策に関する受託事業による連携や各自自治体との連携。また、民間企業との連携で、「八重山教育旅行誘致委員会」「八重山圏域ビジョン会議」「八重山観光・交通コンソーシアム」を設置。																

【実施体制図】

一般社団法人八重山ビジターズビューロー 組織図

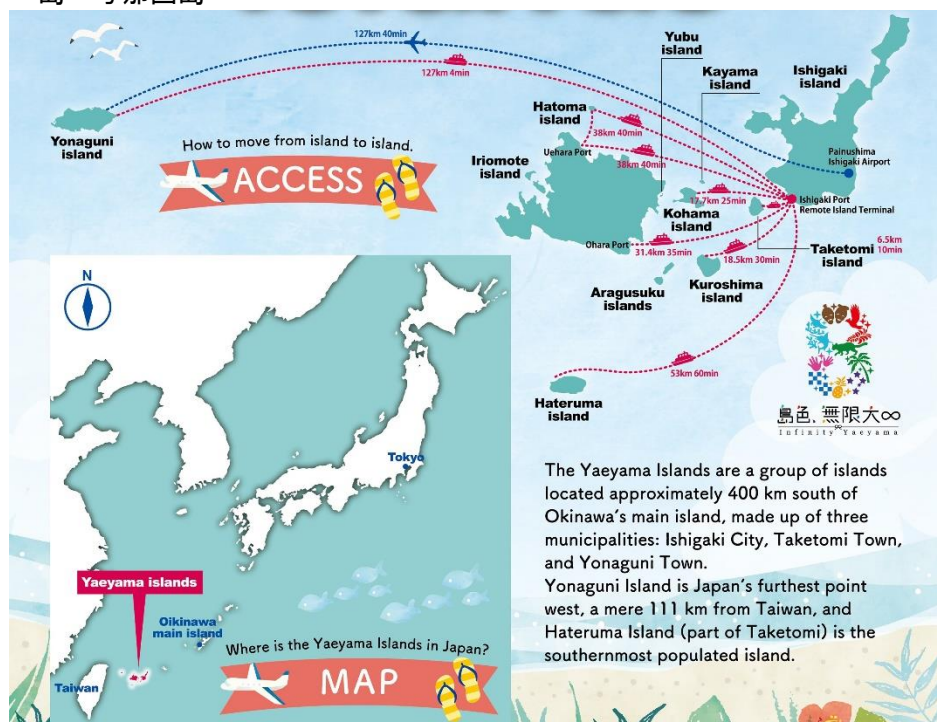
令和6年5月31日現在



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲】 日本最南西端の八重山諸島：

石垣島・竹富島・小浜島・西表島・由布島・黒島・鳩間島・新城島・加屋真島・波照間島・与那国島



【区域設定の考え方】

八重山圏域における 11 の有人島がここに魅力を保持し八重山の観光と経済発展に寄与してきた歴史を含め、また小規模離島の地域単独での観光への注力が限定的なこともあり 3 市町が一体になり取り組むことや、地域の多様な観光と経済関連団体と連携を強化し、観光客の誘致と受け入れ態勢整備を図ることにより観光事業を軸とした地域経済への波及効果と文化の向上促進を図り、合わせて地域住民の幸福度向上に寄与することを目指す。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

令和4年4月～令和5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入域観光客数(人)	73,573	69,937	77,443	100,264	101,413	72,955	100,026	90,267	83,252	71,800	81,846	118,887	1,041,663
内日本人	73,573	69,937	77,443	100,264	101,413	72,955	100,026	90,267	83,252	71,800	81,713	118,887	1,041,530
内外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133	0	133
香港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マカオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アジア(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他諸外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
観光消費額(億円)	68.7	63.1	70.2	95.5	96.4	69.1	91.0	83.0	75.8	62.3	71.6	99.9	946.6
延べ宿泊数(万泊)													327.0

令和5年4月～令和6年3月													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入城観光客数(人)	97,619	91,493	94,522	129,790	110,201	114,277	109,368	93,268	84,225	92,370	111,901	131,650	1,260,684
内日本人	95,590	91,476	94,465	129,762	110,201	114,111	109,367	93,267	84,225	91,112	110,098	130,749	1,254,423
内外国人	2,029	17	57	28	0	166	1	1	0	1,258	1,803	901	6,261
台湾	18	15	47	27	0	166	1	0	0	32	422	140	868
香港	4	0	3	0	0	0	0	0	0	14	1	8	30
中国	1	0	0	0	0	0	0	0	0	32	4	4	41
韓国	16	0	0	0	0	0	0	0	0	743	199	6	964
アジア(上記以外)	175	0	3	1	0	0	0	0	0	89	6	17	291
ヨーロッパ	867	1	4	0	0	0	0	0	0	115	116	290	1,393
アフリカ	83	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	85
北アメリカ	595	0	0	0	0	0	0	1	0	153	1,031	334	2,114
南アメリカ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	35	8	3	49
オセアニア	267	1	0	0	0	0	0	0	0	43	16	99	426
観光消費額(億円)	84.7	71.4	79.0	101.7	93.2	88.3	89.1	79.1	69.3	81.7	93.4	117.1	1,048.0
延べ宿泊数(万泊)													未

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

星空保護区：日本初の星空保護区（ダークスカイパーク）（西表石垣国立公園）

星空観賞ツアー等、ナイトタイムコンテンツを提供

世界自然遺産：竹富町西表島

竹富町の認定ガイドによるツアーの提供

〈観光地・施設〉

石垣島：川平湾・米原キャンプ場・バンナ公園・御神崎・海水浴場・玉取崎展望台・平久保灯台・石垣市立博物館・平和祈念館・具志堅用高記念館・唐人墓・国立天文台・野底マーペ・屋良部岳、他

竹富島：竹富島ビジターセンターゆがふ館・カイジ浜・コンドイビーチ・竹富民芸館、他

小浜島：大岳・シュガーロード・細崎海岸、他

西表島：西表野生生物保護センター・仲間川・浦内川・由布島・マリユウドの滝・ピナイサーラの滝、他

鳩間島：前の浜・鳩間島展望台、他

黒島：黒島ビジターセンター・プズマリ・黒島研究所・仲本海岸、他

波照間島：日本最南端の碑・ニシ浜、他

与那国島：日本最西端の碑・与那国町伝統工芸館・DiDi 与那国島歴史文化交流資料館・立神岩・ティンダバナ・Dr. コトー診療所ロケ地、他

〈伝統文化・芸能〉

みんな織・与那国織・草木染手織・八重山上布・陶芸・焼き物・伝統行事の面・アンガマ・獅子舞・八重山民謡・八重山舞踊、等

〈イベント〉

各地の伝統行事（豊年祭・ハーリー・種子取祭・節祭り、他）・石垣島まつり・南の島の星まつり・ぱいぬ島まつり・黒島牛まつり・与那国今国際カジ釣り大会・音楽祭（鳩間島・西表島）、石垣島フラフェスティバル、他

〈スポーツ〉

石垣島トライアスロン大会・八重山3マラソン（石垣島・西表島・与那国島）千葉ロッテマリーンズ春季キャンプ

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

* 令和 5 年 12 月 31 日現在

		石垣市	竹富町	与那国町	合計
ホテル・旅館	軒数	81	24	9	114
	収容人員	11,645	2,263	408	14,316
民宿・ペンション・貸別荘	軒数	279	104	17	400
	収容人員	2,993	1,551	355	4,899
その他(ユースホステル等)	軒数	76	21	4	101
	収容人員	1,545	383	46	1,974
合計	軒数	436	149	30	615
	収容人員	16,183	4,197	809	21,189

【利便性：区域までの交通、域内交通】

* 県外・国外から八重山圏域までの交通

石垣空港⇄東京国際空港（羽田）	日本航空・全日本空輸
石垣空港⇄成田国際空港	Peach Aviation
石垣空港⇄中部国際空港	日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation
石垣空港⇄関西国際空港	日本トランスオーシャン航空・全日本空輸・Peach Aviation
石垣空港⇄大阪国際空港（伊丹）	全日本空輸※夏季のみ
石垣空港⇄福岡空港	全日本空輸（運休中）・Peach Aviation
石垣空港⇄香港国際空港	香港エクスプレス（運休中）
石垣空港⇄台湾桃園空港	中華航空（運休中）

* 県内での交通

石垣空港⇄那覇空港	日本トランスオーシャン航空・琉球エアコミューター・ 全日本空輸・ソラシドエア
石垣空港⇄宮古空港	琉球エアコミューター
石垣空港⇄与那国空港	琉球エアコミューター
与那国空港⇄那覇空港	琉球エアコミューター
石垣空港⇄波照間空港	第一航空
石垣空港⇄多良間空港	第一航空

* 八重山圏域の交通

南ぬ島石垣空港⇄石垣離島ターミナル	
・バス 所要時間 約 30 分～45 分	
タクシー 所要時間 約 30 分	

船で … 石垣島離島ターミナルから各離島へ

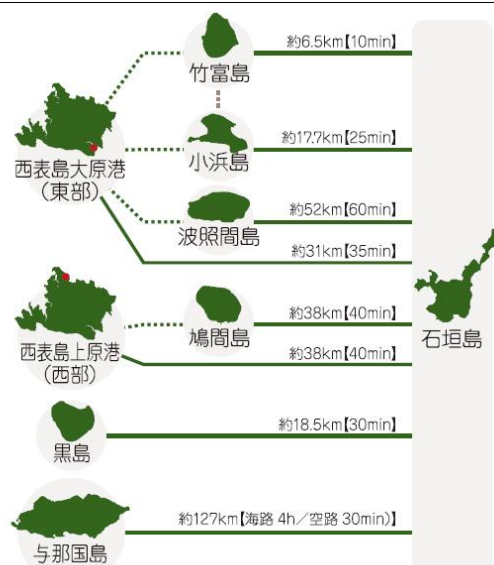
航路	所要時間	会社名
→ 竹富島	10分	八重山観光フェリー 安栄観光 石垣島ドリーム観光
→ 西表島(大原港)	35-45分	
→ 西表島(上原港)	40-45分	
→ 小浜島	25-35分	
→ 黒島	25-35分	八重山観光フェリー／安栄観光 安栄観光 福山海運
→ 鳩間島	40-55分	
→ 波照間島	60分	
→ 与那国島	4時間	

飛行機で … 石垣島から与那国へ

航路	所要時間	会社名
→ 与那国島	30-35分	JTA(RAC)

◆お問合せ先

八重山観光フェリー	☎0980-82-5010	福山海運	☎0980-82-4962
安栄観光	☎0980-83-0055	JTA(RAC)	☎0570-025-071
石垣島ドリーム観光	☎0980-84-3178	第一航空	☎0980-86-8700



※……部分は離島間での航路になります。詳細は直接お問合せください。

【外国人観光客への対応】

- ・空港案内所での多言語対応（石垣市・空港ターミナルが運営）
- ・多言語対応パンフレットの制作
- ・WEBサイトでの情報発信
- ・沖縄県が実施する「多言語コンタクトセンター」の活用促進

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光消費による経済波及効果を把握	「沖縄県観光統計実態調査」「沖縄県外国人観光客実態調査報告書」「八重山入域観光客数統計概況」による。
延べ宿泊者数	観光客の宿泊エリア・動向を把握	
来訪者満足度	八重山圏域に対しての観光客の評価を把握することで、継続的に旅行者の訪れる観光地域づくりのため	
リピーター率	観光消費額の安定的な基盤の構成のため。リピーターを増やし、他者推奨意向を高め、新規訪問者の取り組みに繋げる。	
自社 HP 閲覧数	八重山圏域に対する顧客の関心度や施策の効果を把握するため	グーグルアナリティクス 4 を活用して実施
ミス八重山 Facebook ページフォロワー数	八重山圏域の認知度および興味関心度合いを測るため	各 SNS のインサイト機能を活用して実施
ミス八重山 Instagram フォロワー数	八重山圏域の認知度愛および興味関心度合いを測るため	各 SNS のインサイト機能を活用して実施
八重山圏域の教育旅行学校数	本家に気に訪れる来島する学校数を把握するため	八重山教育旅行誘致委員会へのアンケートを実施

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

- 圏域内においては観光産業が基幹産業であり、各行政の観光計画においても域内調達率が KPI 指標として設定されており、観光を通じた他産業への経済波及が検討されている。観光客の長期滞在と消費単価向上を推進していくにあたり、観光業以外の様々な地域の関係者と連携した地域の魅力の再定義及び磨き上げ、合意形成によるブランディングが重要なテーマとなっている。
- コロナ禍において減少した入域観光客数は順調な回復を見せているが、業界全体での人手不足が深刻な状況であり、特にバス会社や船会社においてはこれまでの周遊観光の受入に影響が出ている。圏域内での雇用確保の動きも活発化しているが、観光 DX による IT 技術の活用も必要となっている。
- 西表島が 2017 年に世界自然遺産に登録されて以降、ユネスコや環境省の基準に基づいた環境保全のための入域管理が進められており、竹富町では観光計画の柱としてレスポンスブルーツリズム（責任ある観光）を推進している。八重山圏域全体においても、クルーズ船入港時などに特定の場所・時間に過度に人が集中する課題があり、繁閑期も含めた観光需要の平準化（場所・時期）の対策が求められている。
- インバウンド受入状況については、コロナ禍以降、石垣空港国際線の運休が続いているため、国内線の空路とクルーズ船での入域となっている。国際線の再開による更なるインバウンド受入拡大が期待されている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？ ・島々の観光コンテンツの多さ 「海洋」「自然・動植物」「文化・芸能」「食」 「島の人たち・島々の個性」「風情」 「工芸・陶芸」「星」	弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？ ・観光事業者の人材不足や二次交通不足 ・島内産業への経済波及が限定的 ・世界自然遺産登録に伴う入域数の制限と自然保護の調和 ・SDGs やグローバル対応 ・観光従事者の高齢化 ・感染症等に対応する医療体制
外部環境	機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？ ・宿泊施設増築 ・令和 5 年 3 月、クルーズ船専用バースの供用開始 ・令和 4 年 1 月、石垣空港国際線ターミナルビル増築 ・令和 3 年 7 月、西表島世界自然遺産登録 ・令和 2 年 3 月、那覇空港第二滑走路供用開始 ・平成 31 年 3 月、日本初の星空保護区認定 ・円安、高単価国際需要の取り込み	脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？ ・国際線運休に伴うインバウンドの減少 ・zoom 等の浸透によるビジネス需要減 ・国内人口減少 ・尖閣諸島問題等による国際紛争、地政学的リスク

※上記に加え、P E S T 分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 (国内) 日本国内 (特に石垣空港との直行便を有する首都圏/中部エリア/関西エリア/福岡・北九州エリア) からの個人・団体旅行者	○選定の理由 新型コロナウイルス感染症以降、海外からの観光客は激減しており、令和6年度も令和元年度の水準までは見込めないことから、国内観光客を第1ターゲットに選定。コロナ禍以降、ワーケーションなどで長期滞在する国内個人旅行者も増えている。 ○取組方針 八重山諸島の豊かな自然を体験すること、また地域に根付く伝統文化芸能のコンテンツをニーズにより細分化し、体系的なアプローチを実施することにより、ターゲット層への的確で強力な選及を行う。高付加価値な観光で長期滞在層の誘客につなげる。
○第2ターゲット層 台湾、香港を中心とした東アジアからの個人客。	○選定の理由 コロナ禍における訪日外国人旅行調査【沖縄版】によると、アジア居住者では沖縄の認知度が48%、訪問意向が22%であることにに対し、石垣については認知度が11%、訪問意向が3%に留まり、沖縄県の認知度に比べ石垣の認知度は低いものの、欧米豪からの認知度と比較すると高い結果となった。コロナ禍の影響で石垣空港を発着する国際線 (台湾便・香港便) が運休状態であったが、令和6年度から国際線の運転再開が見込まれるため、外国人客は同地域から想定される。 ○取組方針 石垣市の航路 (飛行機、船) 解説に連動。現時点では見通しが無いが、石垣市のプロモーションに連動、協力し国際線再開、新定期航路開設を目指す。

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	八重山圏域の来訪者に向けた八重山の8つの魅力を現したキャッチフレーズ「島色、無限大∞」とロゴを設定。 
②コンセプトの考え方	無限大のマーク「∞」と八重山の「八」の数字をかけて、8つの魅力を「8」の形に型取っている。8つの魅力には、それぞれ意味合いのあるテーマカラーを設定。文字ロゴには8つの魅力それぞれのテーマカラーを組み込み、無限大のマーク「∞」とリボンの形を組み合わせた中央の水引は、「結いの心」で、8つの魅力をひとつに纏め上げるデザインになっている。 (1) 海洋…マンタ、サンゴ、カジキ

	→美しい八重山の海のライトブルー (2) 自然・動植物…ヤエヤマヤシ、イリオモテヤマネコ →自然の強い息吹を感じるグリーン (3) 文化・芸能…アンガマ →伝統を重んじるしっかりとしたブラウン (4) 食…パイナップル →太陽の光をいっぱい浴びた元気なオレンジ (5) 島の人たち・島々の個性…てのひら →人々の暖かさを感じるピンク (6) 風情…カンムリワシ、デイゴ →深紅に染まる春のデイゴのレッド (7) 工芸・陶芸…ミンサー織 →代表的なミンサー織の矢山の海のブルー (8) 星…南十字星 →美しく光る星々が映える深い夜空のバイオレット
--	--

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	・協働による観光まちづくりを推進するため、石垣市主導の観光地経営戦略会議および観光地経営戦略チーム（不定期）に CMO と CFO が参画。観光事業者ネットワークとの連携、調整を核としつつ、市民や事業者との共同体制を構築。 ・八重山ビジターズビューローが主催する理事会（年3～4回程度および八重山圏域ビジョン会議（年2回程度）において事業内容、戦略を共有。また外部有識者委員会（年2回程度）の識者の意見に基づき戦略を磨き上げ。 ・石垣市が中心となり関係団体と立ち上げた石垣市スポーツコミッションに専務理事が副会長として就任し事業計画を推進。 ・宿泊税導入を検討する石垣市観光審議会に専務理事が委員として就任。宿泊税の制度設計や使途の方針等、条例案を策定するとともに事務局及び受託業務に繋げていく。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	・石垣市特産品振興組合による厳正な審査に合格した特産品に石垣市特産品認定証が与えられ、品質や安心を保証。 ・沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全確保等に関する条例により、マリンレジャー事業者は公安委員会へ届出が必要となっている。また石垣市消防本部や八重山警察署、石垣海上保安部などの関係機関により、八重山地区水難事故防止推進協議会が組織され、八重山における水難事故防止に関する啓発活動を行っている。 ・石垣市観光交流協会、竹富町観光協会による星空ガイド育成講座を通じたガイド認定を実施。 ・竹富町観光案内人条例により、西表島の自然観光ガイドの免許制度を制定。西表島の優れた自然を守りながら地域に根差した質の高いガイドツアーの提供を目指す。 ・令和5年3月策定された「竹富町観光振興基本計画」を踏まえ同年9月「第1回西表島の持続可能な観光のための認証制度検討会」が開催

	され、CMO が参画。地域住民の合意形成を図りながら、令和 7 年度からの試験的運用を目指す。 ・エコツーリズム推進法に基づき西表島エコツーリズム推進協議会を設置。自然体験ゾーン、保護ゾーン、一般利用ゾーンとエリアごとにルールを定める等している。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	・八重山観光親善大使（ミス八重山）の公式 SNS（Facebook、Instagram）を通じた情報発信のプロモーションを実施。 ・YVB、石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、与那国町観光協会の HP にて地域イベント情報を発信。 ・八重山観光アプリ「島色、無限大∞」を通じて、観光情報他、イベント情報を発信。 ・与那国島の女性観光客の増加を狙った「私に還る。与那国島」の特設 WEB サイト・公式 SNS にて情報発信。 ・インバウンド向けに八重山の文化や歴史、イベント等の情報を WEB サイト「Yaeyama Islands」にて情報発信。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. K P I（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後 3 年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去 3 年間の実績も記入すること。

（1）必須 K P I

指標項目		2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	未設定 (未設定)	70,000 (1,700)	117,400 (未設定)	123,800 (未設定)	130,400 (未設定)	137,500 (未設定)
	実績	49,540 (0)	94,660 (0)	104,800 (N. A)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	未設定 (未設定)	2,961 (75)	3,213 (未設定)	3,486 (未設定)	3,782 (未設定)	4,104 (未設定)
	実績	2,003 (0)	3,270 (0)	3,795 (0)			
●来訪者満足度 (%)	目標	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)
	実績	96.9 (N. A)	96.8 (N. A)	97.6 (95.8)			
●リピーター率 (%)	目標	54.6 (未設定)	57.3 (未設定)	60.2 (未設定)	60.0 (未設定)	60.0 (未設定)	60.0 (未設定)
	実績	59.6 (N. A)	52.7 (N. A)	58.0 (65.6)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※訪日外国人旅行者の目標値については、八重山における国際線空路の再開見通しが立っていないことおよび海路は集計が行われていないことから未設定とする。

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

沖縄県および石垣市の観光基本計画をベースにして、YVB にて策定。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

実績については、沖縄県八重山事務所による「八重山入域観光客数統計概況（推計）」（総計）と沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績および第 6 次沖縄県観光振興基本計画および第 2 次石垣市観光基本計画をベースに 105.4%の伸び率で設定。

●延べ宿泊者数

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計一体調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績および第 6 次沖縄県観光振興基本計画および第 2 次石垣市観光基本計画をベースに 108.5%の伸び率で設定。

●来訪者満足度

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、現状の高い水準を維持することを目標として設定。

●リピーター率

実績については、沖縄県文化観光スポーツ部による「沖縄県観光統計実態調査（推計）」（日本人）と同じく沖縄県文化観光スポーツ部による「外国人観光客実態調査報告書」（外国人）に基づく。

目標値については、実績及び「石垣市観光基本計画」「竹富町観光振興基本計画」「与那国町総合計画」をベースに 5%の伸び率で設定。最終的には 60%を維持することを目標値とする。

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●八重山の教育 旅行実施校数 (単位：校)	目標	159	154	126	104	110	115
	実績	74	166	148			
●自社 HP 閲覧数 (PV)	目標	25,000	22,000	24,000	20,000	20,000	20,000
	実績	21,582	23,377	13,993			
●ミス八重山 Facebook ペー ジフォロワー 数	目標	—	6,200	6,200	6,200	6,300	6,400
	実績	6,028	6,083	6,174			
●ミス八重山 Instagram フ ォロワー数	目標	—	7,000	7,500	7,200	7,300	7,400
	実績	6,351	6,861	7,081			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
 ※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

- ・ 八重山の教育旅行実施数：八重山教育旅行誘致委員会にて検討。実績については八重山教育旅行誘致委員会会員へアンケートを実施。
- ・ 自社 HP 閲覧数：これまでの閲覧数を考慮し、毎年同水準の閲覧数を設定。
- ・ ミス八重山 Facebook ページフォロワー数：これまでの増加数を考慮し、毎年同水準の伸び数を設定
- ・ ミス八重山 Instagram フォロワー数：これまでの増加数を考慮し、毎年同水準の伸び数を設定

【設定にあたっての考え方】

- ・ 八重山の教育旅行数：定期的な委員会の会議により検討。月毎の入込の平準化にも活用
- ・ 自社 HP 閲覧数：八重山への興味関心の度合いを測るために設定
- ・ ミス八重山 Facebook ページフォロワー数：八重山の認知度および興味関心の度合いを測るために設定
- ・ ミス八重山 Instagram フォロワー数：八重山の認知度および興味関心の度合いを測るために設定

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2021（R3） 年度（実績）	52,129,922（円）	【事業収益】 29,080,574 円 【受取補助金等】 6,200,962 円 【受取負担金】 16,057,513 円 【受取寄付金・協力金】 602,088 円 【雑収益】 188,785 円
2022（R4） 年度（実績）	50,931,219（円）	【事業収益】 23,785,932 円 【受取補助金等】 6,433,432 円 【受取負担金】 19,070,192 円 【受取寄付金・協力金】 561,622 円 【雑収益】 1,080,041 円
2023（R5） 年度（実績）	53,167,931（円）	【事業収益】 21,594,174 円 【受取補助金等】 18,290,332 円 【受取負担金】 9,119,624 円 【受取寄付金・協力金】 782,244 円 【雑収益】 3,381,557 円
2024（R6） 年度	60,245,824（円）	【事業収益】 32,298,600 円 【受取補助金等】 21,156,412 円 【受取負担金】 4,740,812 円 【受取寄付金・協力金】 0 円 【雑収益】 2,050,000 円
2025（R7） 年度	60,245,824（円）	【事業収益】 32,298,600 円 【受取補助金等】 21,156,412 円 【受取負担金】 4,740,812 円

		【受取寄付金・協力金】 0 円 【雑収益】 2,050,000 円
2026 (R 8) 年度	60,245,824 (円)	【事業収益】 32,298,600 円 【受取補助金等】 21,156,412 円 【受取負担金】 4,740,812 円 【受取寄付金・協力金】 0 円 【雑収益】 2,050,000 円

(2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2021 (R 3) 年度 (実績)	53,993,054 (円)	【事業費】 49,848,441 円 【管理費】 4,144,613 円
2022 (R 4) 年度 (実績)	47,852,121 (円)	【事業費】 45,179,020 円 【管理費】 2,673,101 円
2023 (R 5) 年度 (実績)	48,209,198 (円)	【事業費】 43,875,812 円 【管理費】 4,333,386 円
2024 (R 6) 年度	48,209,198 (円)	【事業費】 43,875,812 円 【管理費】 4,333,386 円
2025 (R 7) 年度	48,209,198 (円)	【事業費】 43,875,812 円 【管理費】 4,333,386 円
2026 (R 8) 年度	48,209,198 (円)	【事業費】 43,875,812 円 【管理費】 4,333,386 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

【取組み】 コンソーシアム等の事務局受託による受託手数料 【今後の展開】 ・沖縄県全体で、令和 8 年から宿泊税導入に向けた検討が進められており、圏域内の石垣市も同様に宿泊税導入を予定している。宿泊税を財源とした事業構築について、行政との検討を進めている。 ・石垣市は R8 年宿泊税導入予定自治体であることから、宿泊税条例案を検討するための石垣市観光審議会が設立され、宿泊税の用途等について既に議論が進められており、同会の委員として YVBCMO である専務理事が参画しており、OCVB 沖縄コンベンションビューローとも連携した戦略会議を開始している。 ・地域の魅力の掘り起こし・ブランディングと連動した着地型旅行商品（地域 OTA）の販売による手数料収入、観光ガイドの運営業務による収入を検討。
--

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

石垣市、竹富町、与那国町は一般社団法人八重山ビジターズビューローとともに登録申請します

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

重複なし

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	飯田 晃子
担当部署名（役職）	事務局
郵便番号	907-0022
所在地	沖縄県石垣市大川 547 興ビル 206 号室
電話番号（直通）	0980-87-6252
F A X 番号	090-87-5509
E - m a i l	dmo@yvb.jp

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	石垣市
担当者氏名	西銘 基恭
担当部署名（役職）	企画部観光文化課 課長
郵便番号	907-8501
所在地	沖縄県石垣市真栄里 672 番地
電話番号（直通）	0980-82-1535
F A X 番号	0980-82-9901
E - m a i l	nishime@city.ishigaki.okinawa.jp

都道府県・市町村名	竹富町役場
担当者氏名	通事 太一郎
担当部署名（役職）	自然観光課 課長
郵便番号	907-0012
所在地	沖縄県石垣市美崎町 11-1
電話番号（直通）	0980-83-1306
F A X 番号	0980-82-9901
E - m a i l	Touji-t@town.taketomi.okinawa.jp

都道府県・市町村名	与那国町役場
-----------	--------

担当者氏名	田島 忠幸
担当部署名（役職）	企画財政課 課長
郵便番号	907-1801
所在地	沖縄県八重山郡与那国町字与那国 129
電話番号（直通）	0980-87-2241
F A X 番号	0980-87-2079
E - m a i l	tajima@town.yonaguni.okinawa.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

沖縄県石垣市、竹富町、与那国町

【設立時期】平成27年4月1日

【設立経緯】八重山圏域の観光事業の発展、観光客の誘致を図るため、併せて八重山圏域の観光を通じた経済活性化、群民の文化の向上に寄与することを目的とし設立。

【代表者】中山 義隆(石垣市長)

【マーケティング責任者(CMO)】我那覇 宗広

【財務責任者(CFO)】綿貫 周平

【職員数】5人(常勤5人(正職員3人・出向2人))

【主な収入】

県受託事業費約19百万円、補助金等約27百万円(R5年度決算)

【総支出】

事業費約44百万円、管理費約4百万円(R5年度決算)

【連携する主な事業者】

3市町の各観光協会、3市町の各商工会、八重山経済人会議、JAおきなわ-八重山、八重山漁業協同組合、石垣島特産品詰め隊、八重山タクシー事業協同組合、東バス、八重山観光フェリー、安栄観光、沖縄県県政業協会八重山支部、八重山地区宅地建物取引業社会、海上保安庁第11管区

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年11月30日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
旅行 消費額 (億円)	目標	未設定 (未設定)	700 (17)	1,174 (未設定)	1,238 (未設定)	1,304 (未設定)	1,375 (未設定)
	実績	495.4 (0)	946.6 (0)	1,048 (N.A)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	未設定 (未設定)	2,961 (75)	3,213 (未設定)	3,486 (未設定)	3,782 (未設定)	4,104 (未設定)
	実績	2,003 (0)	3,270 (N.A)	3,795 (未)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)	98 (未設定)
	実績	96.9 (N.A)	96.8 (N.A)	97.6 (未)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	54.6 (未設定)	57.3 (未設定)	60.2 (未設定)	60.0 (未設定)	60.0 (未設定)	60.0 (未設定)
	実績	59.6 (N.A)	52.7 (N.A)	58.0 (未)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

日本国内(特に石垣空港との直行便を有するエリア)からの個人/団体旅行客

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

八重山諸島の豊かな自然を体験すること、地域に根付く伝統文化芸能のコンテンツをニーズにより細分化し、体系的なアプローチをすることにより訴求を行う。高付加価値な観光で長期滞在層の誘客に繋げる。

【観光地域づくりのコンセプト】

八重山の8つの魅力を現した「島色、無限大∞」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

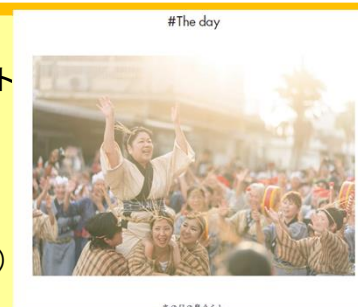
・与那国島コンテンツの磨き上げ

【受入環境整備】

・CRMアプリ「島色、無限大∞」を活用した地域データベースの構築。
・八重山観光・交通コンソーシアム
交通事業者を中心にコンソーシアムを設立し交通事業者との連携を図る。

【情報発信・プロモーション】

・地元の生活と密着した要素にスポットを当てたSNSでの情報発信。
(八重山島ぐらしカレッジ)
・国内外における八重山関連行事等においてPRと親善交流を実施。
(八重山観光親善大使 ミス八重山)



島ぐらしカレッジフォトブック

八重山MaaS